

CD-450

NATURAL SOUND COMPACT DISC PLAYER

取扱説明書・保証書

COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO

 **YAMAHA**

ご使用前に必ずお読みください。

このたびは、ヤマハ・コンパクトディスクプレーヤーCD-450をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。CD-450の優れた性能を充分に発揮させると共に、長年支障なくご愛用いただくために、この取扱説明書をご使用前にぜひお読みくださいますようお願いいたします。

目次

特長	1
豊かなオーディオライフのために	2
接続の前に	3
付属品の確認	3
接続のしかた	4
コンパクトディスクの取り扱い	5
各部の名称とはたらき	7
ディスクの入れかた	11
基本的な演奏	13
プログラム演奏	17
インデックスサーチ	20
リピート演奏	21
リモコン演奏	23
タイマー演奏	24
故障かなと思ったら	25
参考仕様	26
ヤマハホットラインサービスネットワーク	27

特長

YAMAHAナチュラルサウンド・コンパクトディスクプレーヤーCD-450は、デジタル・オーディオ・ディスク(DAD)の持つ優れた音質を充分にお楽しみいただけるよう、ヤマハの最新技術を結集して開発されました。周波数特性 5Hz ~ 20 kHz ± 1.5 dB、ダイナミックレンジ95dB以上、歪率0.004%以下(1kHz)というオーディオ特性と、セラミック軸受採用のディスク駆動モーターやサーボコントロールLSIなどにより、ワウ・フラッター測定限界以下という高精度を確保しています。

●先進の技術を搭載

YAMAHAの新開発CD専用LSIにより、CD-450では高度な信号処理回路を極めてコンパクトな形で実現し、デジタルフィルターをも、信号処理LSIに組み込むことができました。デジタル回路の大半をLSI化したため、本体の小型化と共に、少数部品で高い信頼性を確保しました。

●マイコン搭載による多彩な演奏

マイクロコンピューター搭載により、プログラム演奏、リピート演奏、オート演奏を始め、インデックスサーチなど、コンパクトディスクに収められている情報を最大限に生かした多彩な演奏がワンタッチ操作で可能です。

●マルチファンクションディスプレイ

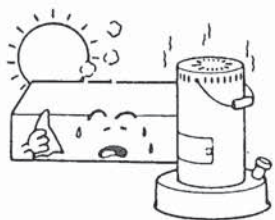
本機の各モード表示を始め、演奏曲番、演奏経過時間、ディスクの総演奏時間などをデジタル表示します。

●操作性を広げるリモコンを標準装備

付属のリモコンを使用すれば、基本操作のほとんどに加えて、A↔Bリピートなどの機能もお楽しみいただけます。

豊かなオーディオライフのために！

高温をさけて！

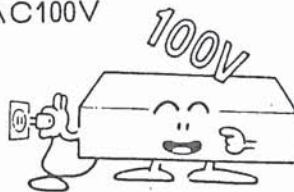


ほこり・水気をさけて！

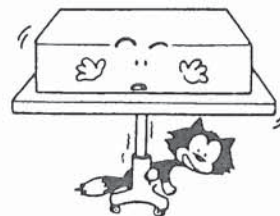


国内のみ使用可

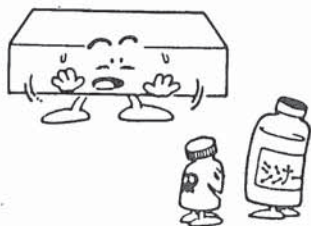
家庭用電源コンセント
AC100V



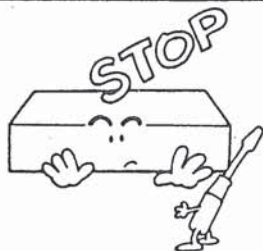
不安定な場所をさけて！



薬物厳禁



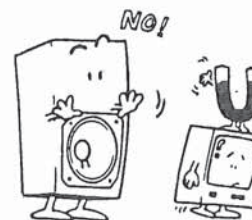
開けないで！



引っぱらないで！



磁気・テレビはさけて！



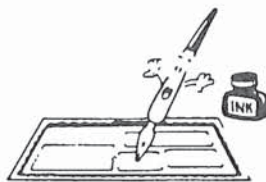
こわれた？



25ページの「故障かなと思っ
たら」をご覧ください。

保証書の手続きを！

お買い求めいただきました際、購
入店で必ず保証書の手続きを行な
ってください。保証書に販売店名、
購入日などがありませんと、保証
期間中でも万一サービスの必要が
ある場合に実費をいただくことが
ありますので、充分ご注意ください。



取扱説明書はかならず
保管してください。



ファイルなど

接続の前に — 輸送ネジを取りはずしてください。

●輸送ネジとは

CDプレーヤー内部にあるレーザーピックアップ部を輸送時の振動から守るために、ネジで固定してあります。輸送ネジは、本体の底面にあります。

●取りはずし

本機の電源を入れる前に、必ず輸送ネジを取りはずしてください。

図のように、本体の左側を下にして、⊕ドライバーで輸送ネジを取りはずします。

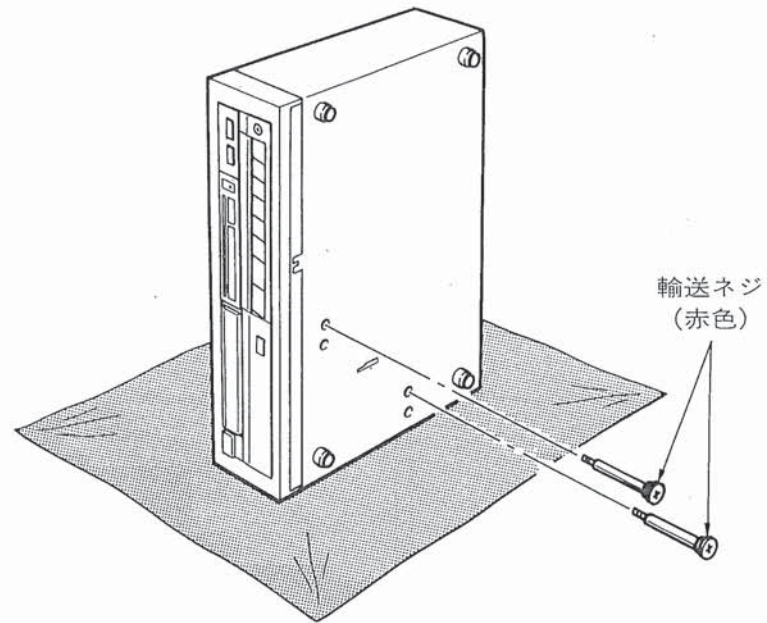
その際、本体に衝撃を加えないように充分注意してください。また、本体を傷つけないために、本体の下に布などを敷くことをおすすめします。

輸送ネジは、大切に保存しておいてください。

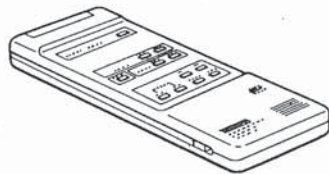
●引越しなどで輸送するとき

輸送ネジを取りつけます。

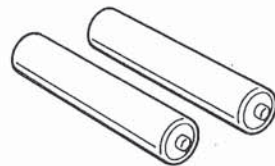
取りつけの際は、ディスクが本体から取り出してあることを確認し、取りはずしの逆の手順で輸送ネジを取りつけてください。



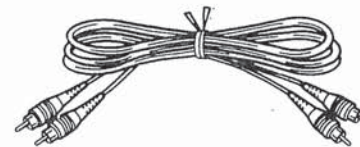
付属品を確認してください。



リモコン送信機 (RS-D5)



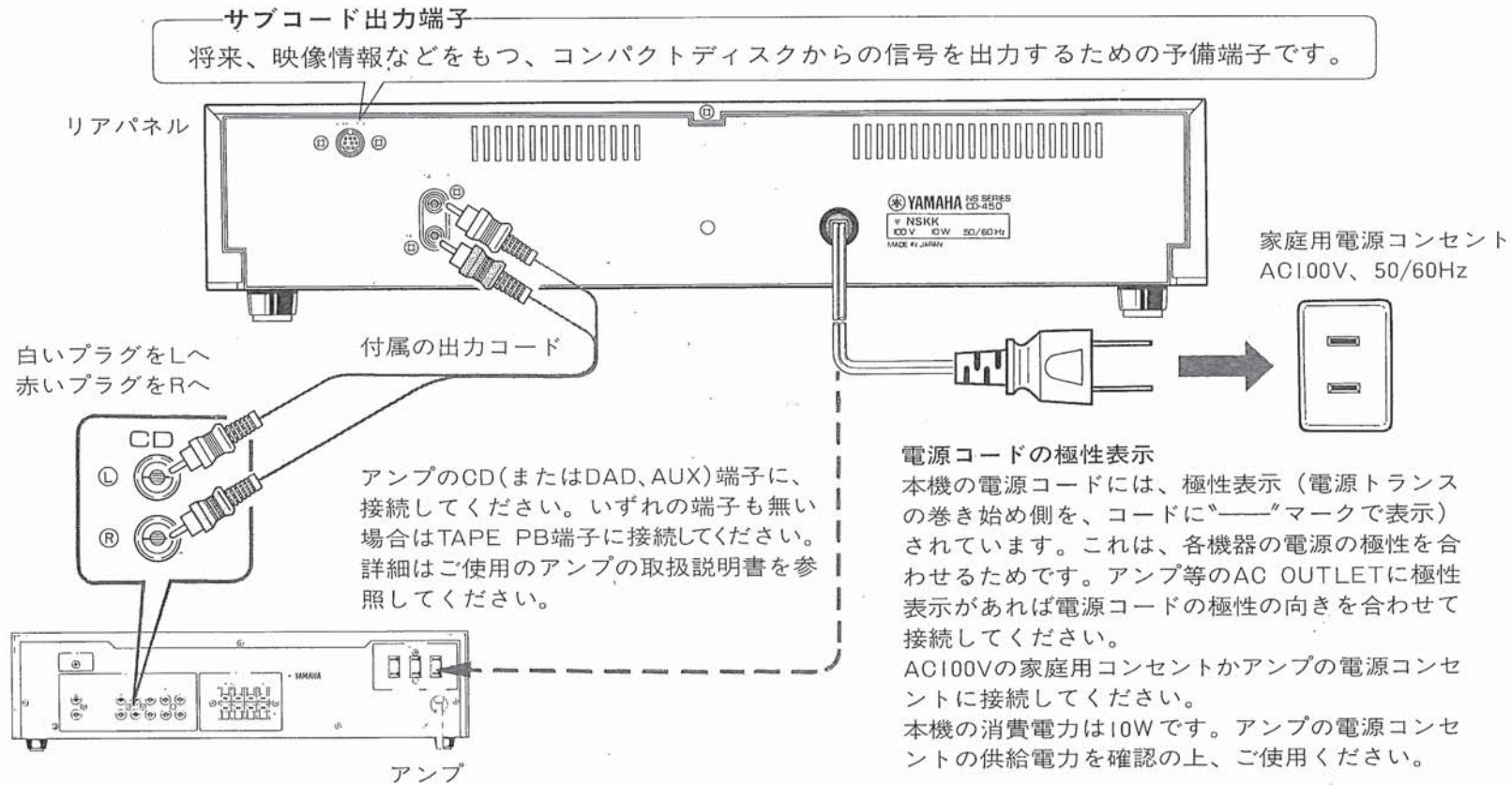
乾電池 単3(SUM-3)



出力コード

接続のしかた

- 接続する前に、輸送ネジが取りはずしてあることを確認してください。
- 接続の際は、各機器の電源を切り、右チャンネル(R)、左チャンネル(L)を確認して接続してください。
- 本機の出力は、アンプのPHONO端子に接続しないでください。
- コンパクトディスクプレーヤーがチューナーに妨害を与えるようなときは、チューナーとコンパクトディスクプレーヤーの距離を少し離して設置してください。

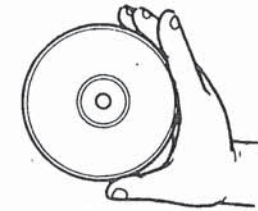
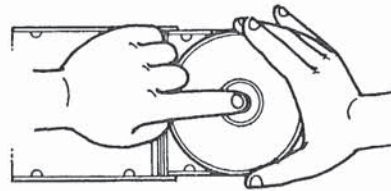
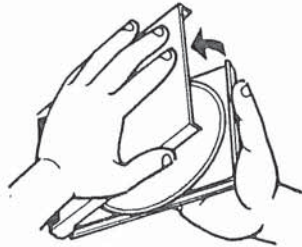


コンパクトディスクの取り扱い

本機は、コンパクトディスク(CD方式)専用のプレーヤーです。  マークのあるコンパクトディスクをお使いください。

ケースからの取り出し方

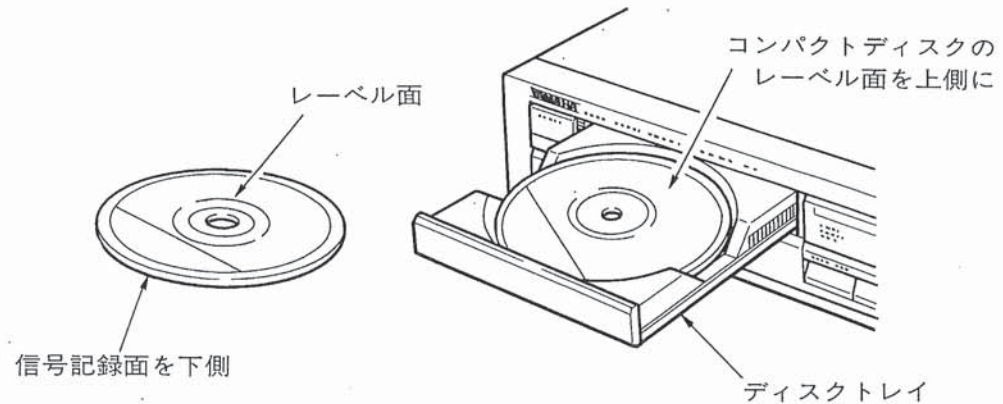
1. 右手でケースの両横側面を支え、左手で上下側面を持ってフタを開けます。
2. 左手の指先でケースのセンターホルダーを押さえ、右手でコンパクトディスクを持ち上げます。
3. できるだけコンパクトディスクの縁を持つようにして、表面に触れないように扱ってください。



ディスクのセット

コンパクトディスクは、必ずレーベル面を上にしてセットしてください。(コンパクトディスクの演奏は片面だけです。)

- 市販のディスクスタビライザーなどの使用は、ディスクを傷つけるだけでなく故障の原因になる場合がありますので、ご使用にならないでください。



取り扱いの注意

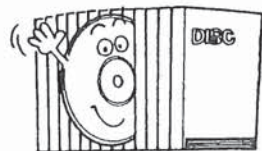
- 信号記録面に指紋やほこりがつきましたら、柔らかい布などで軽く内側中心から外側へ直角方向に拭いてください。コンパクトディスクには、レコード盤のような音溝はありません。ほこりやよごれは柔らかい布で軽く拭き取るだけで充分です。多少のほこりやよごれは、音質にはまったく影響ありません。



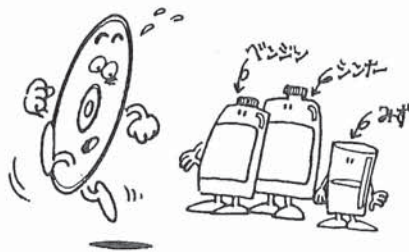
- レーベル面に紙などを貼ったり、ボールペンなどで文字を書かないでください。



- 演奏を終わったディスクは必ずケースに入れて保管してください。



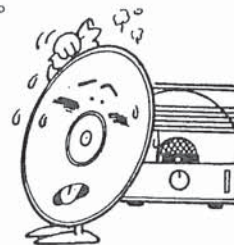
- レコードスプレー、帯電防止剤、ベンジン、シンナーなどで絶対に拭かないでください。コンパクトディスクはプラスチック製です。これらの化学薬品で表面が侵されることがあります。また水に濡れた布で拭くことも避けてください。



- 曲げたりしないでください。



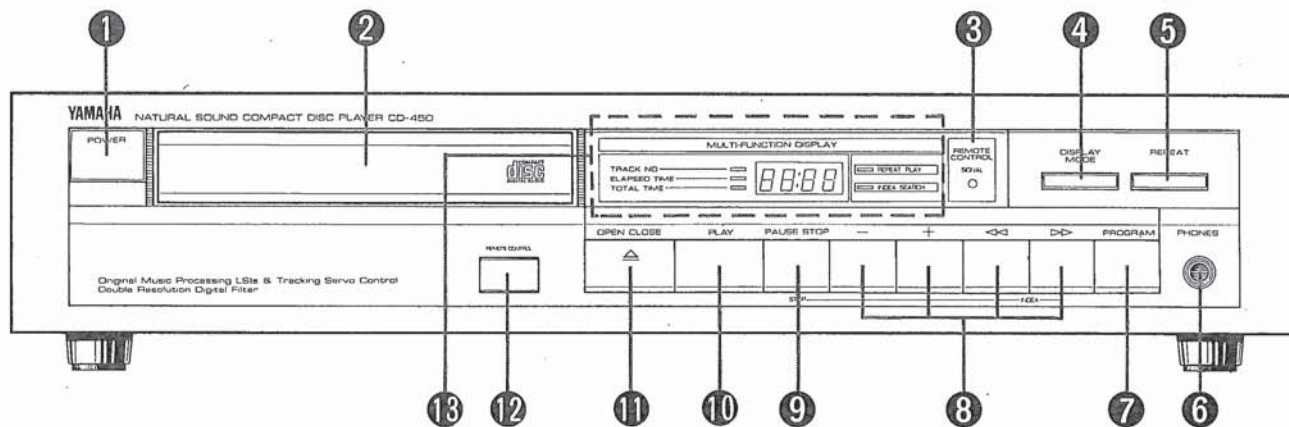
- 直射日光が当たる場所や、高温多湿な場所へ長時間置かないでください。コンパクトディスクを高温な場所に長時間放置すると変形などの原因となります。



- 表面に傷をつけないよう、特にケースからの出し入れには注意してください。



各部の名称とはたらき



① ^{パワー}POWERスイッチ

本機の電源をON、OFFするスイッチです。
ディスクがディスクトレイにセットされていればPOWER ONで演奏がスタートしますのでオーディオタイマーを使っ
ての目覚まし演奏ができます。

② ディスクトレイ

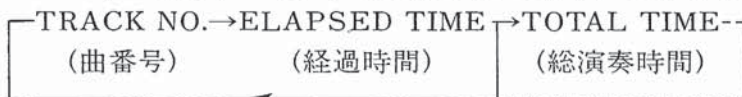
ディスクをセットするところです。OPEN/CLOSEキーを
押すと開き、もう一度押すと閉まります。
ディスクトレイを軽く手で押しても、PLAYキーを押して
も閉まります。電源ONの状態であれば、ディスクトレイ
の開閉はできません。

③ ^{リモート コントロール シグナル}REMOTE CONTROL SIGNAL

リモコン送信機からの信号を受光すると、点灯します。

④ ^{ディスプレイ モード}DISPLAY MODEキー

ディスプレイモードを切りかえます。
このキーを押すごとに、表示は下記のように変わります。



<STOP時のみ>

⑤ ^{リピート}REPEATキー

ディスク全体またはプログラムした曲をリピート(繰り返し)
演奏をすることができます。
(→"リピート演奏" P21を参照ください)

⑥ ^{ホーンズ}PHONESジャック

ヘッドホンはこのジャックに接続すれば、アンプの操作を
せずに演奏をモニターすることができます。

^{プログラム}
⑦PROGRAMキー

プログラム演奏をするとき、そのセットとチェックに使用します。(→"プログラム演奏" P17をご参照ください)

⑧サーチ操作キー (-, +, <<, >>)

お好みの曲から演奏したいときや、お好みの演奏箇所をしたいときに使います。インデックスの指定もできます。

>>…早送り/インデックスキー +…前進スキップキー

<<<…早戻し/インデックスキー -…後退スキップキー

<キーの機能>

	+ · -	<<< · >>>
プレイ時	+ : 次の曲の頭からプレイ - : その曲の頭からプレイ 押し続け : 連続的に変化します	>>> : 早送り <<< : 早戻し (約3秒以内→低速) (約3秒以上→高速) プレイ時は音がでます ポーズ時は音がでません
ポーズ時	+ : 次の曲の頭でポーズ - : その曲の頭でポーズ 押し続け : 連続的に変化します	
ストップ時	+ : 次の曲の頭でストップ - : 1曲目の頭でストップ 押し続け : 連続的に変化します ※プログラム時は変化しません	インデックス指定ができます ※プログラム時は変化しません

^{ポーズ/ストップ}
⑨PAUSE/STOPキー

演奏中に一時停止させるときや、停止させるときに使います。

^{プレイ}
⑩PLAYキー

演奏をスタートさせるキーです。

^{オープン/クローズ}
⑪OPEN/CLOSEキー

ディスクトレイを開閉させるキーです。

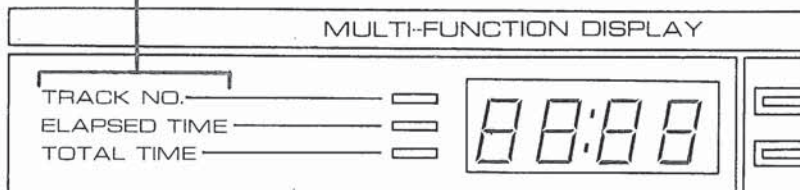
^{リモート/コントロール}
⑫REMOTE CONTROL 受光部

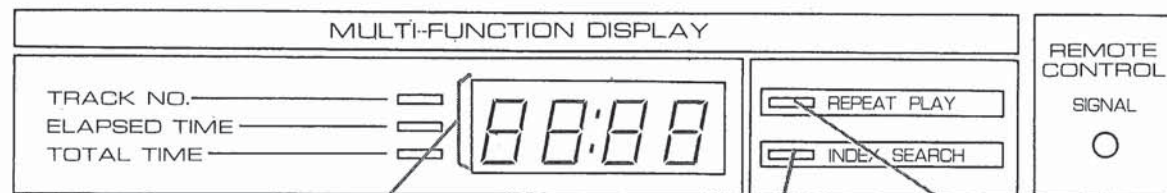
リモコン送信機からの信号を受光するところです。

^{マルチ/ファンクション/ディスプレイ}
⑬MULTI-FUNCTION DISPLAY

いろいろな演奏状態や動作状態を表示します。

^{トラック/ナンバー}
TRACK NO.点灯……………曲番を表示します。
^{イラップス/タイム}
ELAPSED TIME点灯……………曲の経過時間を表示します。
^{トータル/タイム}
TOTAL TIME……………最初の曲から最後の曲を演奏し
終わるまでの総演奏時間を表示
します。





インデックスサーチ
INDEX SEARCHインジケータ
インデックス指定時に点灯します。

リピートプレイ
REPEAT PLAYインジケータ
リピート演奏時に点灯します。

ディスプレイ

演奏状態や、動作状態を表示します。

OPEN

…ディスクトレイが開いているときに点灯します。

※※※※

…ディスク装着の有無、およびディスクの情報を本機が読み込む間点滅します。

点滅

d 150

…ディスクがセットされていないときや、正しくセットされていないときに点灯します。

End

…演奏の終了時およびプログラムのセット終了時に点灯します。

100

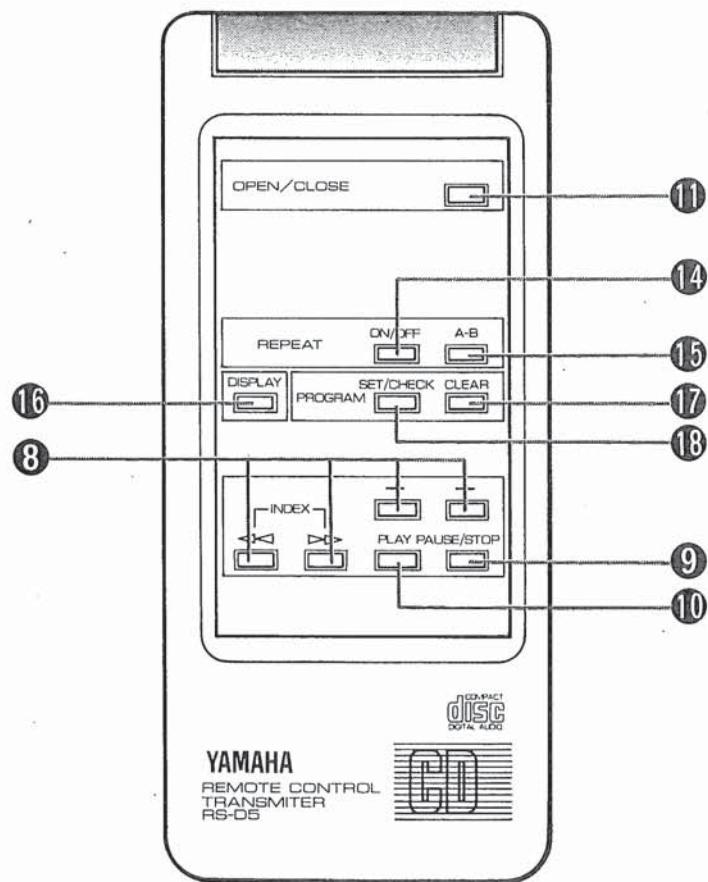
…00はSTOP状態を示します。

00P1

1※※

…※※や:の点滅はPAUSE状態を示します。

0※35



リモコン送信機RS-D5

●OPEN/CLOSEキー、サーチ操作キー、PLAYキー、PAUSE/STOPキーの機能は本体のキーと同様です。P 7、8をご参照ください。

⑭ REPEAT ON/OFFキー

リピート オン オフ
本体の⑤ REPEATキーと同様の機能です。

⑮ A↔Bリピートキー

設定した2点間をリピート演奏させるキーです。
(→“A↔Bリピート”P 22を参照ください)

⑯ DISPLAYキー

ディスプレイ
本体の④ DISPLAY MODEキーと同様の機能です。

⑰ PROGRAM CLEARキー

プログラム クリア
このキーを押せば、セットしたプログラムをすべて消すことができます。

⑱ PROGRAM SET/CHECKキー

プログラム セット チェック
本体の⑦ PROGRAMキーと同様の機能です。

ディスクの入れかた

☑リモコン送信機で操作されるときは、対応するキーをお使いください。

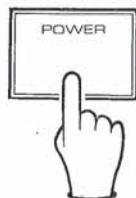
●電源を入れる前に、必ず輸送ネジの取りはずしを行なってください。

1 POWERスイッチを押します。

点滅 約3秒後 文字点灯




(ディスクがセットされていないことを示します。)

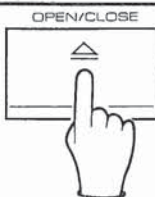


- “d 150”表示中はOPEN/CLOSEキーのみはたらかまず。
- ディスクトレイが出ている状態のときは、自動的に閉まります。
- POWERスイッチのON、OFFを極端に早いスピードで繰り返しますと、内部動作が正しく行なわれないことがあります。

2 OPEN/CLOSEキーを押します。

ディスクトレイがゆっくりと出てきます。

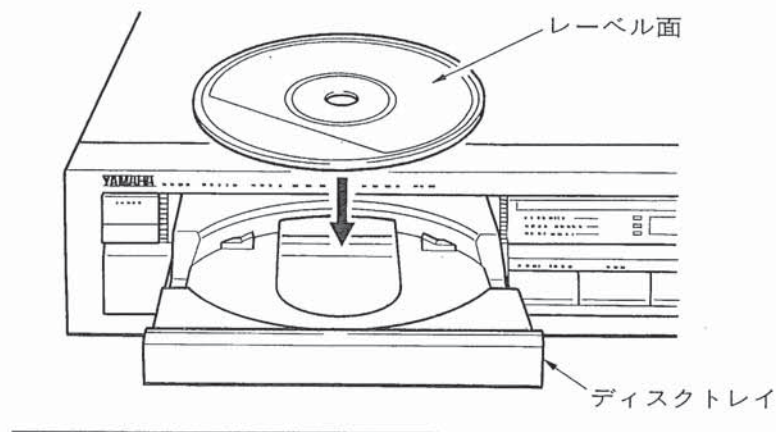
(OPEN動作) 



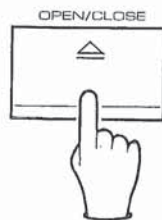
- 動作中(OPEN動作)にディスクトレイを止めると、約4秒後には、そのままの状態ですまります。このような場合は、もう一度OPEN/CLOSEキーを押してディスクトレイを閉めてください。
- “OPEN”表示中は、OPEN/CLOSEキー、のほかPLAYキー、“+”キー、“-”キー、インデックスNoを選ぶための“<<”キー、“>>”キーがはたらかまず。

3 ディスクをディスクケースから取り出しレーベル面を上にして、ディスクトレイにのせます。

- レーベル面の反対側が音の記録面ですので、指紋などつけないように取り扱ってください。



- 4** OPEN/CLOSEキーをもう一度押します。またはディスクトレイをかるく押します。ディスクトレイが閉まります。(CLOSE動作)
STOP状態になります。



■ディスクを正しく収納すると



- ディスクトレイが閉まり、ディスプレイに"d 15C"の文字が点灯した場合は、ディスクの表と裏が逆になっていないかを確認してください。"d 15C"の点灯は、演奏スタンバイ状態ではありません。
- 動作中(CLOSE動作)に不要物などがはさまった状態(動作が止まってしまう状態)になりますと、約4秒後にはディスクトレイが出てきます。このような場合は、ディスクトレイ部に不要物がないかを確認してください。
- 光ヘッドのレンズが結露した場合は、"d 15C"の文字が点灯します。この場合、電源を入れてしばらく待ってから(約数10分)、ディスクをセットしてください。

■ディスクの取り出し

OPEN/CLOSEボタンを押せばいつでもディスクトレイが出てきますのでディスクを取り出してください。

—ご注意—

- ディスクトレイ部には、不要物などを入れないでください。故障の原因になります。
- 動作中は、ディスクトレイを手で無理に開閉しないでください。
- 本機を使用しないときは、ゴミやホコリを防ぐためディスクトレイを閉めておいてください。

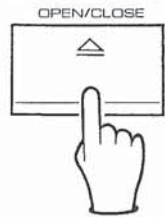
基本的な演奏

☐接続のしかた、ディスクの入れかたの項を読んでから行なってください。

1 OPEN/CLOSEキーを押してディスクトレイを開け、ディスクをセットします。

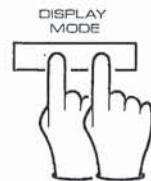


2 ディスクトレイを閉めます。収納されると、ディスクの情報を読み込んだ後STOP状態になります。



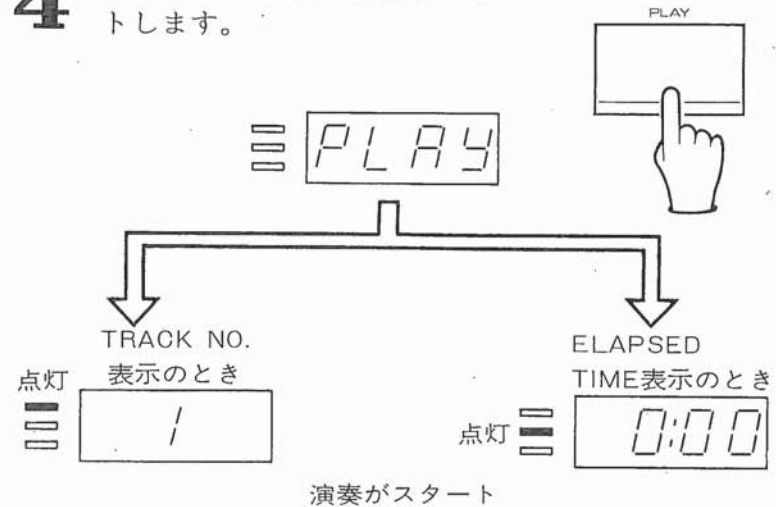
点灯    100

3 このとき、DISPLAY MODEキーを2度押しとディスプレイ表示は、総演奏時間表示にかわります。最初の曲から最後の曲を演奏し終わるまでの必要時間がわかり録音する場合に便利です。



お好みの表示にセットしてください。

4 PLAYキーを押すと、演奏がスタートします。



- TOTAL TIME表示からPLAYキーを押すとTRACK NO.表示に変わり演奏を始めます。
- ディスクトレイにディスクをセットして、ディスクトレイが開いたままでPLAYキーを押しても、トレイが閉まり演奏が始まります。
- ディスクにキズ等がありますと、演奏開始時間が遅れたり、途中から演奏してしまうことがあります。
- 偏芯したディスクを使用した場合、内部から音がでることがあります。
そのようなディスクは使用しないでください。

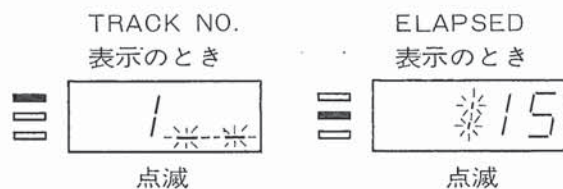
□リモコン送信機で操作される時は、対応するキーをお使いください。

- 5** 全曲演奏が終わると“End”を表示した後に、自動的にSTOP状態(最初の曲で待機している状態)になります。



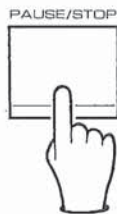
■途中で演奏をやめるには

- 一時停止するには (PAUSE状態)
PAUSE/STOPキーを一回押します。
演奏している所で止まります。



PLAYキーを押すと、そこから演奏が始まります。

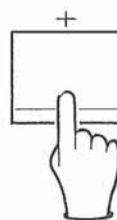
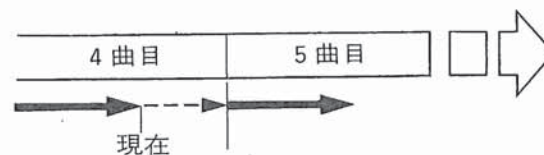
- 演奏を停止したいとき (STOP状態)
PAUSE/STOPキーを2回押します。
最初の曲で待機します。



■曲の頭出し

- “+”・“-”キーを使って、曲の頭出しが簡単にできます。
- 次の曲を演奏したいとき

例) 4曲目の途中から、5曲目を演奏するには…



“+”キーを押します。

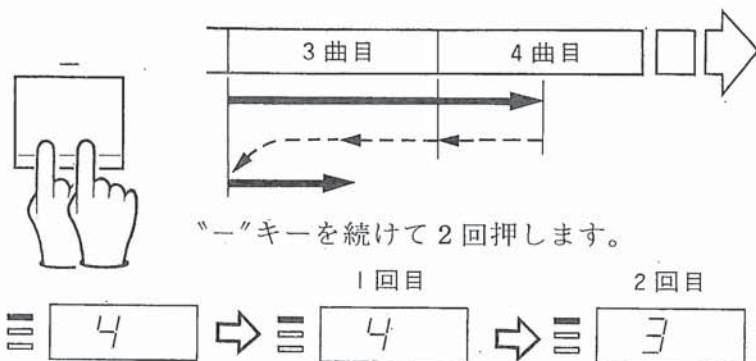


“+”キーを押すたびに次の曲に移ります。押し続けると連続的に変化します。お好みの曲番を選んでください。
ディスクの最終曲までサーチ(選曲)しますが、その後押し続けても、曲番は最終曲番で止まり、最終曲番を演奏し始めます。

- 演奏を開始する前(演奏スタンバイ状態)にこの操作をすれば、お好みの曲から聴き始めることができます。
この場合、選んだ曲番はPLAYキーを押すまで表示されます。
ディスクに含まれた曲番数以上に選曲した場合は、最終曲番の演奏を始めます。

●前の曲を演奏したいとき

例) 4曲目の途中から3曲目を演奏するには…



“-”キーを押すたびに前の曲に移ります。演奏を始める
(曲の途中のときは、曲の頭に戻ります。)
押し続けると連続的に変化します。
曲番1までサーチ(選曲)しますが、その後は押しでも変化しません。

●ディスプレイ表示がELAPSED TIME表示のときに“+”、“-”キーを操作した場合は、一時的にTRACK NO.表示に変わり曲番を表示してからELAPSED TIME表示に戻ります。

■早送りと早戻し

演奏中または、一時停止中(PAUSE状態)にサーチ操作キーの“<<”・“>>”キーを使って、早戻し・早送りができます。



●演奏中のとき

“<<”・“>>”キーを押し続けると、最初の約3秒間は低速で早戻し・早送りします。

その後は、高速で早戻し・早送りします。

早戻し・早送り中は、再生音が小さな音(約 $\frac{1}{4}$)で聞こえます。聴きたい位置で指を離すとそこから演奏を再開します。

●一時停止中のとき

“<<”・“>>”キーを押すと、早戻し・早送りができます。

この場合は、音がでません。

●停止状態のとき

“<<”・“>>”キーを押すと、インデックスの指定となります。(20ページを参照ください。)

●“>>”キーを押し続けて、ディスクの最終曲の終わりまで早送りをしますと、ディスプレイは“End”を表示した後STOP状態になります。

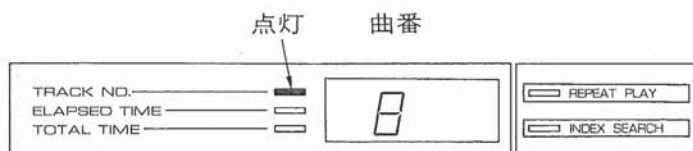


ディスプレイ表示について

DISPLAY MODE キーによってディスプレイの表示内容を切り替えられます。表示内容は、下記の通りです。

●曲番の表示 (TRACK NO.)

曲番がわかります。

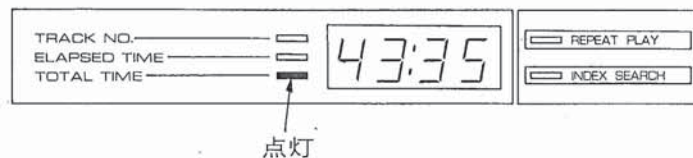


例：この場合は8曲目です。

●総演奏時間の表示 (TOTAL TIME)

STOP時のみ表示します。

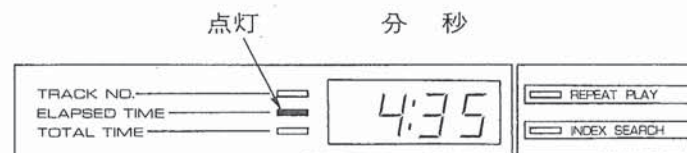
演奏し終わるまでの総演奏時間がわかります。



例：この場合、総演奏時間は43分35秒です。
演奏を始めるとTRACK NO.表示となります。

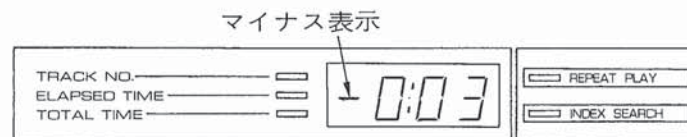
●経過時間の表示 (ELAPSED TIME)

その曲が始まってからの経過時間がわかります。



例：この場合は4分35秒です。

曲と曲とのブランク (曲間) があるときは、



例：この場合は3秒後に演奏し始めます。

-0:03、-0:02とマイナス表示され、その曲の演奏し始めるまでの時間がわかります。

曲の頭にくると、表示が0:00となり演奏が始まります。

注意：TOTAL TIMEはSTOP時のみ表示します。

演奏中、一時停止中は、TRACK NO. と ELAPSED TIMEとの切り替えとなります。

プログラム演奏

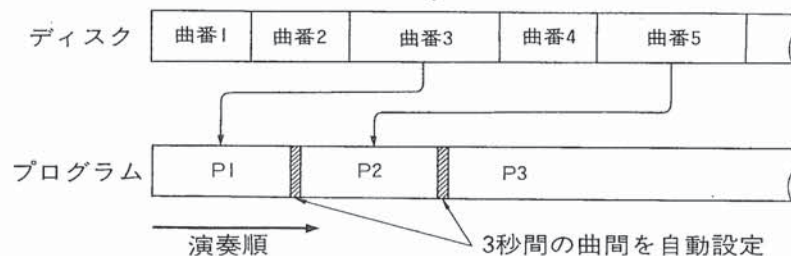
□リモコン送信機で操作される時は、対応するキーをお使いください。

ディスクに収録されている曲をお好みの順番に9曲までならべ変えて演奏することができます。

また、プログラム演奏は自動的に3秒間の曲間が挿入されますので、カセットテープなどへのダビングの際に便利です。

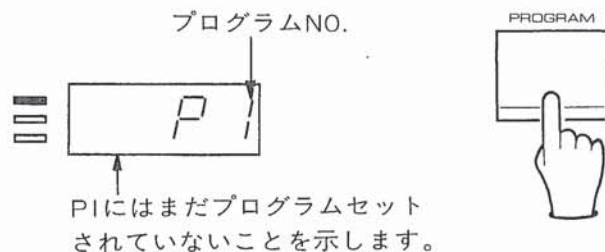
■プログラムセットのしかた

例)次のようなプログラムは…

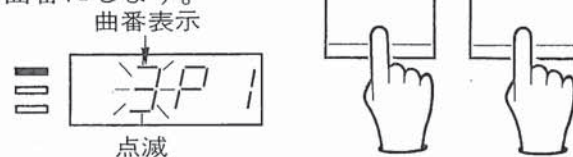


1 STOP状態にします。

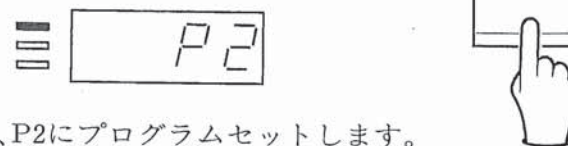
2 PROGRAMキーを押します。



3 “+・-”キーを押してお好みの曲番にします。

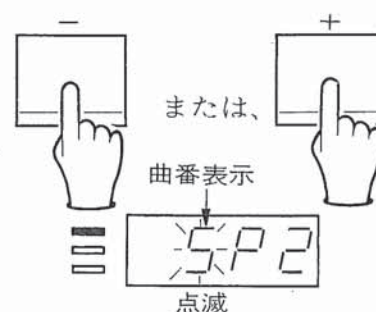


4 PROGRAMキーを押します。
表示はP2に変わり、P1にプログラムセットができたことを示します。



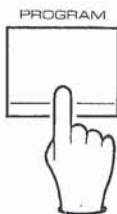
次は、P2にプログラムセットします。

5 “+”または“-”キーを押してお好みの曲番を選びます。



●曲番指定は、前のプログラムの曲番から“+”、“-”操作となります。

6 PROGRAMキーを押します。



- 同様にしてプログラムは“P9”までセットできます。
“P9”のプログラムセットが完了すると“End”表示後
STOP状態になります。

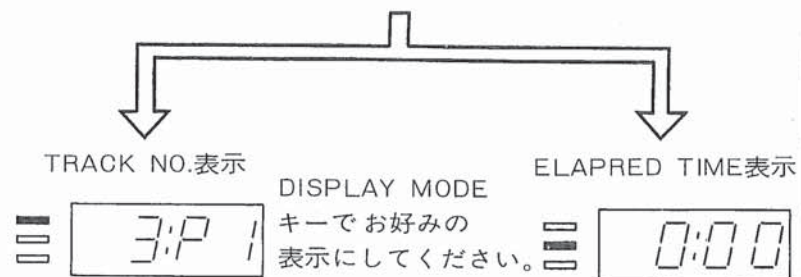
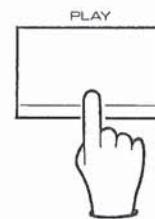
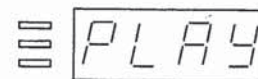
7 もう一度、PROGRAMキーを押します。



プログラムセットの完了です。
PROGRAMキーを2度続けて押せばプログラムを完了
させることができます。
このとき、DISPLAY MODE キーを押して TOTAL
TIME 表示にすれば、プログラムの総演奏時間が表示
されます。

■プログラム演奏のしかた……………

1 PLAYキーを押します。 プログラム演奏が始まります。



- TOTAL TIME表示からPLAYキーを押すとTRACK
NO.表示に変わり演奏します。

2 プログラム演奏が終わると自動的にSTOP状態 (プログラムNO.1で待機している状態)になります。



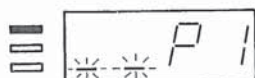
■プログラム演奏をやめるには

●一時停止するには (PAUSE状態)

PAUSE/STOPキーを1回押します。

PLAYキーを押すと、そこから演奏が始まります。

TRACK NO.表示のとき

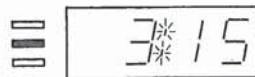


点減する

ELAPSED TIME表示のとき

●停止するには (STOP状態)

PAUSE/STOPキーを2回押します。P1で待機します。



点減する

■プログラム演奏中のときのサーチ操作

●“+”、“-”キーを押すと……

プログラムNO.を指定できます。

※ただしプログラムセットした数字以上のプログラムNO.を指定することはできません。最大プログラムNO.で止まります。

※STOP状態では、頭出しできません。PAUSE状態にしてください。

●“◀”、“▶”キーを押すと……

プログラムされている曲に関係なく早戻し、早送りできます。ただし、プログラムされていない曲に早戻し、早送りした場合には、その曲を演奏し終わるとプログラム曲番を1つ上げてプログラム演奏に戻ります。

※STOP状態では、変化しません。

■プログラムのチェックと変更のしかた……

●プログラムチェック

STOP状態にしてPROGRAMキーを押してプログラムされた内容呼び出すことができます。

●プログラムの一部を変更するとき

変更したいプログラムナンバーを呼び出します。

「プログラムセットのしかた」と同様の方法で、前のプログラムの上にセットします。

前のプログラムは、消えて新しいプログラムとなります。

●プログラムをすべて消すとき

ディスクトレイを開閉、または電源を切りますと、プログラムは、すべて消えます。

※リモコン送信機でプログラムを消すときは、PROGRAM CLEARキーを押してください。

●インデックスのプログラム演奏は、できません。

●プログラム総演奏時間が99分59秒をこえたときのTOTAL TIME表示は、100分を除いた残り時間を表示します。

●21曲以上入っているディスクの場合プログラム演奏でTRACK NO.が20以上の曲番をプログラムしたときは、TOTAL TIME表示はされません。

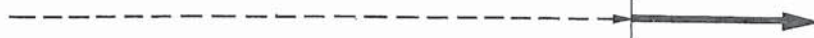
インデックスサーチ

□リモコン送信機で操作されるときは、対応するキーをお使いください。

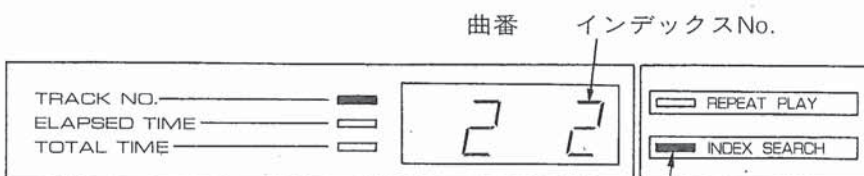
インデックス番号（クラシック曲の第何楽章など）が設定されているディスクの場合には、“◀◀”・“▶▶”キーでお好みのインデックスから演奏をスタートさせることができます。インデックス番号はディスクの解説書をご参照ください。

例) 2曲目のインデックス2から演奏するには、

1 曲目			2 曲目	
インデックス1	インデックス2	インデックス3	インデックス1	インデックス2



1. STOP状態にします。
2. “+・-”キーで曲番を選びます。
3. “▶▶”キーを2回押します。



点灯(インデックスが指定されていることを表示)

4. PLAYキーを押します。

インデックス指定した所から演奏を始めます。



演奏がスタート

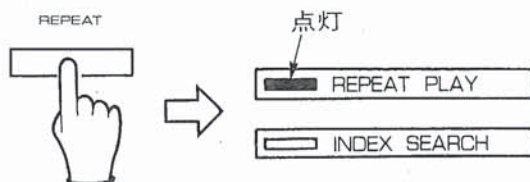
- ディスクに記載されているインデックス番号より大きな数を指定した場合、最終インデックス番号より演奏します。
- インデックス指定はPAUSE/STOPキーを押せば解除されます。
- インデックス演奏のときは、曲の少し前から再生することがあります。
- インデックスの頭出しは、PLAYキーを押して演奏を始めますと自動的に、インデックスは解除されインジケータも消えます。
- インデックス番号の記録されていないディスクの場合、選んだ曲の頭から演奏が始まります。
- インデックスの頭出しには、多少時間がかかることがあります。

リピート演奏

□リモコン送信機で操作される時は、対応するキーをお使いください。

■全曲リピート

1. REPEATキーを押します。



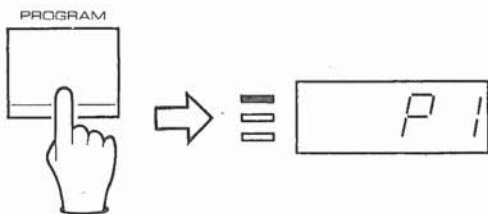
2. PLAYキーを押します。

- 演奏中、ポーズ中にREPEATキーを押した場合も、全曲リピートになります。

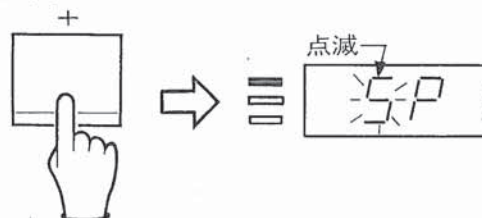
■1曲リピート

例. 5曲目をリピート演奏するとき。

1. PROGRAMキーを押します。



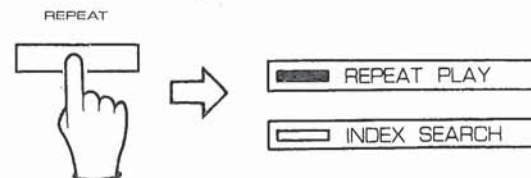
2. “+”キーを5回押します。ディスプレイに“5”が点滅表示されます。



3. PROGRAMキーを押します。5曲目がP1にプログラムされ、ディスプレイに“P2”が表示されます。



4. REPEATキーを押します。5曲目のリピート演奏が指定され、REPEAT PLAYインジケータが点灯します。



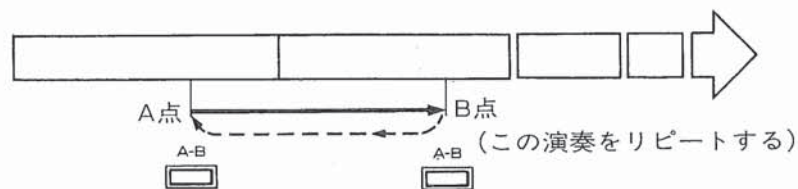
5. PLAYキーを押します。

■プログラムリピート

1. 17ページの「プログラム演奏」を参照して、お好みの曲をプログラムします。
2. REPEATキーを押します。
3. PLAYキーを押します。

■A↔Bリピート

付属のリモコン送信機をお使いになると、設定したお好みの2点間をリピート演奏させることができます。



1. 演奏中(またはPAUSE状態のとき)リピートを始めたい箇所になりましたら、リモコン送信機のA↔Bキーを押します。ここがA点となります。
2. A点が設定されると、本体のREPEAT PLAYのインジケータが点灯します。
3. リピートを終わらせたい箇所になりましたら、もう一度A↔Bキーを押します。ここがB点となります。キーを押すと同時にA↔B間のリピート演奏を始めます。

●A↔Bリピートの変更

A↔Bリピート演奏中にA↔Bキーを押しますと、押したところが新しいA点となり、同時にB点の設定が解除されます。もう一度押せば新しいB点を設定できますので、A↔B間を変更することができます。

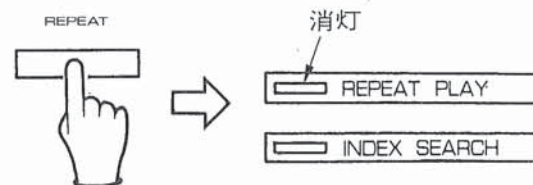
●A↔Bリピートの解除

リモコン送信機のREPEAT ON/OFFキーを押しますとA↔Bリピートは解除されます。

- 本体のREPEATキーを押しても、解除することができます。
- ※プログラム演奏中にA↔Bリピート演奏はできません。

■リピート解除

リピート演奏を解除するときは、REPEATキーを押してください。インジケータが消灯します。

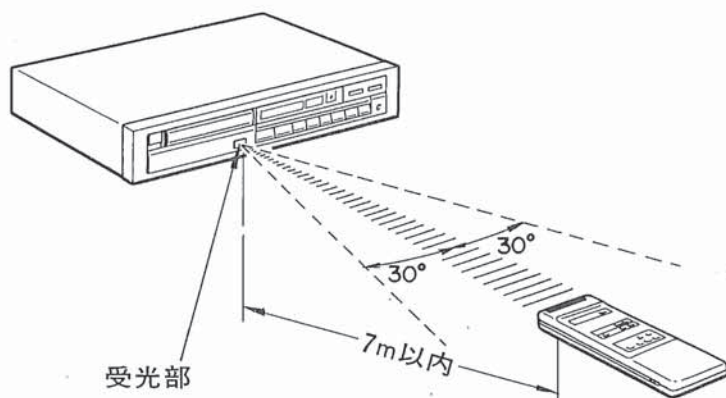


リモコン演奏

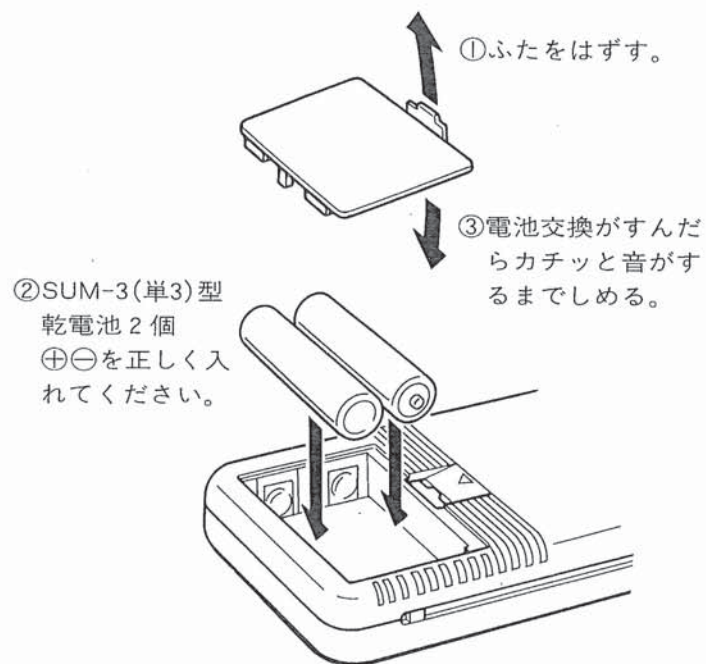
CD-450は便利なリモコン操作が可能です。

付属のリモコン送信機RS-D5をご使用になりますと、基本操作のほとんどが離れた場所から操作できます。

なお、信号光は直進性の高い赤外線を使っていますので、受光部との角度にご注意ください。



●電池の交換は



電池の交換時期は？

リモコン操作できる距離が短くなってきたら電池が消耗しています。このときは、2個とも新しい電池に交換してください。電池がまったく消耗すると、ボタンを押しても受信シグナルがつかなくなります。

タイマー演奏

- プラス(⊕)とマイナス(⊖)の向きを、リモコンの電池ケースの表示通りに正しく入れてください。
- 弱ってきた電池は、早めに交換してください。
- 新しい乾電池と一度使用したものを混ぜて使わないでください。
- 種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。同じ形状で性能の異なるものがあります。
- 電池には充電式とそうでないものがあります。電池の注意表示をよく見てご使用ください。
- 電池の⊕と⊖を金属片などで直接つなぐこと(ショート)はしないでください。
- 長い間リモコンを使わないときは、電池を取り出しておいってください。
- 分解や加熱をしたり、火の中に入れてしないでください。万一液もれが起こったときは、電池入れについた液をよくふき取ってから、新しい電池を入れてください。

別売りのオーディオ・タイマーと組み合わせると、希望の時間に演奏を始めることができます。

1	電源プラグの接続	●本機の電源プラグをアンプのコンセントに接続します。 ●アンプの電源プラグをタイマーの連動コンセントに接続します。
2	本機の操作	●POWERスイッチをONにしてディスクをセットします。
3	アンプの操作	●アンプの電源をONにします。 ●アンプのINPUT SELECTORをCDにして音量を調節します。
4	タイマーの操作	●演奏の開始時刻と終了時刻を合わせてセットします。 (このとき、各機器の電源が切れたことを確認してください。)

以上でタイマーにセットした時刻が来ると自動的に演奏が始まります。

※タイマーのセットする方法はタイマーの取扱説明書を参照してください。

故障かなと思ったら

本機をご使用中に正常に動作しなくなったときは、下記の事項をご確認ください。そのうえで正常に動作しない、あるいは下記以外で何か異常が認められました場合は、本機の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ店または最寄りのYAMAHA電機音響製品サービス拠点宛、お問い合わせ、サービスをご依頼ください。

どんな状態ですか	ここをチェックしてください	こうすればOKです
電源スイッチを押しても電源が入らない	電源プラグの差し込みが不完全	電源プラグをコンセントにしっかり差し込みなおしてください
ディスクを入れても演奏できない	ディスクが裏がえしにセットされている	ディスクのラベル面を上にして入れてください
	ディスクがひどく汚れている	クリーニングしてください
音が出ない	出力コードの接続が不完全	接続を確認してください
	アンプの操作が間違っている	アンプのスイッチの位置を確認してください
音飛びがする	本機が震動やショックを受けている	設置場所をかえてください
	ディスクがひどく汚れている	クリーニングしてください
ブーンというハム音が出る	出力コードのプラグの接続不良	出力コードのプラグをしっかりと差し込みなおしてください
チューナーにノイズがはいる	本機とチューナーの設置場所が近い	チューナーから遠ざけるか、本機の電源を切ってください
リモコン送信機では操作できない	乾電池が消耗している	受信シグナルが点灯しないときは、乾電池を2個とも交換してください
	送信機が受光部に向いていない	送信機を受光部に向けてキーを押してください

参考仕様

■型式 コンパクトディスク・デジタル・オーディオ・システム

■オーディオ特性

周波数特性	5~20kHz $\begin{matrix} +0.5 \\ -1.0 \end{matrix}$ dB
高調波ひずみ+雑音	0.004%以下 1kHz(EIAJ)
SN比	98dB(EIAJ)
ダイナミックレンジ	95dB(EIAJ)
ワウ・フラッター	測定検知限以下
チャンネル・セパレーション	90dB以上(1kHz)
出力電圧	2Vr.m.s.(フルスケール)
出力インピーダンス	1k Ω
ヘッドホン出力電圧(8 Ω 負荷)	150mV

■方式

光ピックアップ	3ビーム・レーザー
エラー訂正方式	CIRC. 2重エラー訂正方式
D/A変換	16ビットリニア
フィルター	デジタルフィルター+3次アクティブフィルター

■機能

頭出し	“+”・“-”キーによる順次頭出し
インデックス選曲	“◀◀”・“▶▶”キーによる頭出し
音出しサーチ(演奏時)	“◀◀”・“▶▶”キーによるサーチ 2段階スピード自動切換
総演奏時間表示	DISPLAYキーにて(ストップ時のみ)
プログラム機能	9曲ランダム
リピート	全曲またはプログラム全部のリピート サブコード出力端子

■総合

電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	10W
外形寸法(W×H×D)	435×94×290(mm)
重量	4.2kg
付属品	リモコン送信機、単三乾電池2本、出力コード

※仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

ヤマハ ホットライン サービス ネットワーク

ヤマハ ホットライン サービス ネットワークは、本機を末長く、安心してご愛用頂けるためのものです。サービスのご依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはお近くのサービス拠点にご連絡ください。

●保証期間

お買い上げ日より1年間です。

●保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間経過後の修理

修理によって製品の機能が維持できる場合には、お客様のご要望により有料にて修理いたします。

●補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後8年です。この期間は通商産業省の指導によるものです。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

●持ち込み修理のお願い

故障の場合、お買い上げ店、または最寄りのYAMAHA電気音響製品サービス拠点へお持ちください。

(右欄サービス拠点の所在地と電話番号をご参照ください)

●製品の状態は詳しく

サービスをご依頼なさるときは、製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。また製品の品名、製造番号などもあわせてお知らせください。

※品名、製造番号は本機背面パネルに表示してあります。

■YAMAHA電気音響製品サービス拠点

(電気音響製品の修理受付および修理品お預かり窓口)

北海道	〒065 札幌市東区本町1条9-3 TEL(011)781-3621
仙台	〒983 仙台市卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F TEL(0222)36-0249
東京	〒211 川崎市中原区木月1184 TEL(044)434-3100
新潟	〒950 新潟市万代1-4-8 シルバーボールビル2F TEL(0252)43-4321
浜松	〒432 浜松市東伊場2-13-12 TEL(0534)56-9211
名古屋	〒454 名古屋市中川区玉川町2-1-2 日本楽器名古屋流通センター3F TEL(052)652-2230
大阪	〒565 吹田市新芦屋下1-16 千里丘センター内 TEL(06)877-5262
四国	〒760 高松市丸亀町8-7 日本楽器高松店内 TEL(0878)22-3045
広島	〒731-01 広島市安佐南区西原2丁目27-39 TEL(082)874-3787
九州	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL(092)472-2134

日本楽器製造株式会社

〒430 浜松市中沢町10-1

ホームエレクトロニクス事業本部

ステレオ事業部国内営業部 TEL.(0534)60-3421

管理部サービス技術課 TEL.(0534)60-3405

住所および電話番号は変更になる場合があります。

VB48860-0 BWgb,R 